

鶴見区区政会議 平成 29 年度第 3 回全体会議事録（要旨）

1 日 時 平成 30 年 1 月 22 日（月） 19 時 00 分～21 時 06 分

2 場 所 鶴見区役所 4 階 403・404 会議室

3 出 席 者

（委員）

久木議長、前川副議長、内野委員、岡出委員、久貝委員、笹原委員、柴田委員、高田委員、田中（潔）委員、田中（泰）委員、中田委員、西口委員、早野委員、伴委員、藤井委員、藤本委員、宮本委員、山口委員、山田委員、吉江委員、米島委員、渡邊委員

（府議会議員・市議会議員）

徳村府議会議員、土岐市議会議員、大橋市議会議員

（区役所）

河村区長、野村副区長、安部総務課長、奥本区政企画担当課長、阪東魅力創造担当課長、小川地域活動支援課長、田中こども・教育担当課長、中村窓口サービス課長、嶋原保健福祉課長、貴志生活支援担当課長、秋山地域活動支援課長代理、大川こども・教育担当課長代理、浅田保健担当課長代理、貴田子育て支援担当課長代理

4 議 題

1 鶴見区将来ビジョン（2018 年度～2022 年度）について

2 平成 30 年度鶴見区運営方針（素案）について

3 その他

5 議 事

（1） 河村区長開会のあいさつ

（2） 定足数確認

- 区政会議定足数は委員定数の 2 分の 1 で、現在、26 名中 22 名の出席により定足数を満たしている。

（3） 議員紹介

- (4) 鶴見区将来ビジョン（素案）について説明
- (5) 平成 30 年度鶴見区運営方針（素案）の概要版「経営課題 1」の説明
- ① 経営課題 1 「住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」（地域福祉）
 - ② 経営課題 1 「住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」（健康づくり）
- (6) 第 3 回地域保健福祉部会での主な意見の報告
- (7) 委員からの意見・要望等
- ・百歳体操を始めるには 5 人以上集まる必要があるのか。
 - 5 人以上集まっていたきたい。
 - ・ふれあい喫茶等と同時開催は可能であるか。
 - 事業後等に実施することで、同時開催は可能である。
 - ・専門の講師は必要か。
 - DVD に合わせて体操していくため、専門の講師は必要ない。
 - ・高齢者のみでなく、子育てサークルのお母さん方にも目を向けてはどうか。
 - 基本対象者は高齢者と考えているが、子育てサロンや子ども・子育てプラザ等とも連携し進めていきたい。
 - ・（報告）老人福祉センターでは月に 8 回程度実施している。DVD に合わせての体操ならば、人数さえそろえば地域の集会所等で簡単に実施できる。
 - ・百歳体操の広報が不足しているのではないか。
 - 今後、区の広報紙やホームページで広報していく。
 - ・百歳体操は現在区のホームページに掲載しているのか。また、どこで開催しているのか。
 - 区の広報紙には掲載しているが、ホームページには掲載していない。ホームページに掲載するとともに広報にも取り組んでいく。また、地域にはのぼりを配布し、開催時のぼりを立ててもらっている。
 - ・（要望）区民センターでの催し物開催時にデモンストレーション等を行うことにより周知できるのではないか。
 - ・百歳体操を交流の場と考えるならば、百歳体操だけで立ち上げるのではなく、ふれあい喫茶等を活用すればいいと思う。
- (8) 平成 30 年度鶴見区運営方針（素案）の概要版「経営課題 2」の説明
- ① 経営課題 2 「子育てとまなびを応援するまちづくり」（子育て）
 - ② 経営課題 1 「子育てとまなびを応援するまちづくり」（まなび）

(9) 第3回こども教育部会での主な意見の報告

(10) 委員からの意見・要望等

- ・生涯学習は、小学校で実施している生涯学習ルームから3年で自主運営事業となるが、そうすると講師謝礼の予算もなくなり、学校施設も使用できないため、生涯学習が下火になっていく。
- ・子育て、親育ちにじじばば育ちも含めて、みんなで育ち合うことが大事である。
- ・生涯学習から自主運営事業になり、10年以上続けているが、発表の場がない。発表の場を検討してほしい。
 - 自主運営事業も生涯学習ルームと同様に必要とされている学びなので、成果発表の場等について今後検討していきたい。
 - 第2回こども教育部会で家庭教育の取組みについて説明したが、みんなで育ち合うことは大事であると認識して取り組んでいく。
- ・第2回こども教育部会で説明のあった家庭教育について、地域の教育力や子育て力は家庭教育が基盤となっており、生涯学習の観点や概念からの家庭教育をベースにした取組みについては大変素晴らしいと思う。
- ・おもてなし茶会の広報をもう少し行なった方が知名度アップにつながると思う。

(11) 平成30年度鶴見区運営方針(素案)の概要版「経営課題3」の説明

- ① 経営課題3「安全なまちづくり」(防災)
- ② 経営課題3「安全なまちづくり」(防犯・交通安全)

(12) 第3回防災・防犯部会での主な意見の報告

(13) 委員からの意見・要望等

- ・災害時地域協力貢献事業所の表示等はあるのか。
 - 店舗等に貼るステッカーを渡している。
- ・企業が社会貢献をアピールできるような形にした方がいいと思う。地域防災訓練については、地域住民が参加しやすい土日祝日の開催となると災害時地域協力貢献事業所の参加が難しい。
小学校・中学校での防災教育は行わないのか。
 - 一部の地域では防災リーダーの協力により小学校での防災学習を行っている。中学校については現在1校で、高校については鶴見商業高校で防災学習を実施した。
- ・町会内の災害時地域協力貢献事業所の存在とどういった貢献ができるのか周知が必要である。ハザードマップ等に基づき災害時の水位等を調べたが、避難所への

道のりの途中で水没してしまう場所がある。そのようなことも含めた情報共有により事業所と町会等が連携していける。

➤ 災害時地域協力貢献事業所の制度の周知や地域と事業所が連携できるような調整をしていきたい。

・隣接地域と連携した防災訓練は必要と思うが、近所や町会単位の防災訓練も必要と思う。パッククッキング等の防災食づくりなどを近所や町会で行う防災訓練も必要である。

(14) 平成30年度鶴見区運営方針(素案)の概要版「経営課題4」の説明

① 経営課題4「区民への必要な情報の発信」

(15) 委員からの意見・要望等

・百歳体操が周知不足なので、広報紙の1、2面で特集をしたらいいと思う。

➤ 検討する。

・百歳体操をどこでいつ実施しているかをホームページに掲載できるのか。

➤ 掲載する。

・昨年6月に健康月間を1、2面で特集したところ大変な反響があったので健康まつりや百歳体操も1、2面で特集をすれば効果があると思う。

➤ 広報紙1面は周知効果が高い。1面をどう活かしていくかが広報紙を読んでいただく大きなきっかけとなるため今後検討していく。

(16) 地域保健福祉ビジョンの改定概要および日程の説明

(17) 全体に対しての委員からの意見・要望等

・各部会で子どもに関する取組みについて議論されていると思うが、子どもにスポットライトを当てた将来ビジョンがあってもいいと思うが。

➤ 子どもが多いことを踏まえ、将来ビジョン・運営方針を作成している。

・子どもについて、埋没しているように感じる。ピックアップする必要があるのではないか。

➤ 検討する。

(18) 徳村府議会議員助言

土岐市議会議員助言

大橋市議会議員助言

(19) 河村区長閉会のあいさつ

(20) 事務連絡

- 2月19日(月)に第3回区政会議全体会を開催